
黒の伝説

雪ネコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒の伝説

【Nコード】

N1335W

【作者名】

雪ネコ

【あらすじ】

神様の手違いかなんかで死んでしまった俺こと佐崎 零。

神様がお詫びに異世界に転生させてくれ、そこでの生活が幕を開ける

白い世界で。

「死んで」

はあ？

何言ってるんのこの人。頭おかしいんじゃないの。しかも刃物持ってるし。って、その刃物で何する気なのかなつ。

『グサツ』

ちよ、え？ひんやりした感触があった腹の辺りを触ると赤い液体が…ってヤバいつて！

何か腹が熱いつ。

俺、死ぬのか…??

まずい…意識…が…朦朧と…

最後に俺が見たのは、俺を見て不気味に笑っている少女だった……

白い

どこを見ても白い

……ここは…？

《天界じゃよ》

いきなり頭から響いてきた声は少ししわがれていた。

何処に居る…？

「ワシはこっちじゃ。」

声のした方を見ると、期待を裏切らないどこかの神話にできそうなお爺さんがいた。

「で、何の用？」

今の一番の疑問をぶつけてみた。

《お前は何者だ、とかじゃないんじゃないな》

や、だいたい神様って決まってるし。

《うむ、いかにも。わしが神様じゃ。》

「心読むなよ…」

プライバシーの侵害だ。

てか、神様が心読めるなんて何処にでもある設定だなー。

《予想以上に落ち着いておるな。》

うむ、落ち着いているのなら話を始めよう。

まず、おぬしを此処に呼んだ理由じゃが…実は『かくかくしかじか…』なのじゃ…《

なるほど…って、かくかくしかじかで誤魔化そうとすんじゃないねえ！

《分からなかったか？ ふむ、しょうがないのう…

簡単に説明するぞよ。》

お主が死んだのはこっちのちよっとした手違いなんじゃ。本当は

お主はあの時から25

年後の22時48分14秒に死ぬ予定だったんじゃ。しかしのう、わしの娘が失敗をして

の、一生分の不幸が一気に使われてしまったのじゃよ。

それではあまりに可哀想だということでも500年の天界生活を無しにして今すぐ転生させてやることになったのじゃ。

そういうわけだからの、幾つか希望を叶えてやることにしたんじや。そうじゃのう…

5つまで叶えてやろう！ どんな願い事でもよいぞ。《

……よくある展開キター…

しかし…5つか…もつたないことはしたくないなあ…うーん…

《決まったか??》

うーん、まあ生きてるときに書いた生まれ変わったらリストのベスト5にしようかな。

願い事を決めた俺はコクリと頷いてやる。

《それでは言うがよい。》

「一つ目は容姿が整っていること。

二つ目は魔法がある世界に転生させること。

三つ目は勉強、運動、魔法なんでも完璧にできること。

四つ目は俺が最強であること。

五つ目は金に不自由しない生活であること。

この五つだ。」

《よし、その願い叶えよう。

それでは、よい人生を…》

神様（笑）の返事を聞いたところで俺の意識は途絶えた…

BLACKOUT

意識が戻った俺が見たのは医者っぽいおじさんと、若くてイケメンな男性だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1335w/>

黒の伝説

2011年10月9日15時01分発行